



道徳だより

令和3年10月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～



11月が近づき、日に日に寒くなり、秋の深まりを一層感じることができます。上里東小学校では、2年ぶりの運動会がありました。練習から一生懸命取り組み、成果を発揮できました。

さて、10月の「道徳だより」は、3年生の「同じなかまだから」です。「なかまを大切に作る心」とは何かについて考えました。

<3年生の授業より>

「同じなかまだから」

内容項目 ★公正、公平、社会正義★

●お話の内容●

走るのが苦手な光夫を仲間はずれにして運動会の練習をしようとしているクラスの子に、「同じ二組の仲間じゃないの」と注意し、仲間と公正、公平に接することについて考える話です。

授業を終えた子供たちの意見から

『とも子の「同じ二組の仲間じゃないの」という言葉には、どんな思いがこめられているのでしょうか。』という問いに対してのみんなの感想です。

- ・仲間はずれなんてよくない。
- ・一生懸命走ればきっと勝てる。
- ・光夫くんだって二組の仲間だよ。
- ・苦手なことを悪く言ってはいけない。
- ・ぜったいに人を傷つけない。
- ・みんな違ってみんなすごいところがいっぱいある。
- ・勝ちたい気持ちだけではなく、どんな人も大切にしないといけない。
- ・一人でも仲間外れになったら、もう同じ二組の仲間ではない。
- ・同じ二組の仲間に辛い思いはさせたくない。
- ・一番だけがいいものではないし、友達と仲良くみんなできると元気になる。

生活の中で、「あの人のことが苦手だ」と思うことがあると思います。その中でも、公正に人と接することが大切です。ぜひ、御家庭でも、「公正、公平」ということについて話し合ってみてください。

どの人も大切にするために気を付けることを考えました。

- ・苦手なことがあっても、頑張っていることを認めること。
- ・みんなの良いところを探して、お互いを認め合う。
- ・誰でも得意や不得意があることを理解する。
- ・相手のことをよく知る。
- ・仲間がいなければ一番はとれない。一番よりも友達が大切。